



# 群馬県立がんセンターだより

## 第30号

発行 平成27年10月 群馬県立がんセンター

### 理 念

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

### 基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

## がん診療の向上にむけて

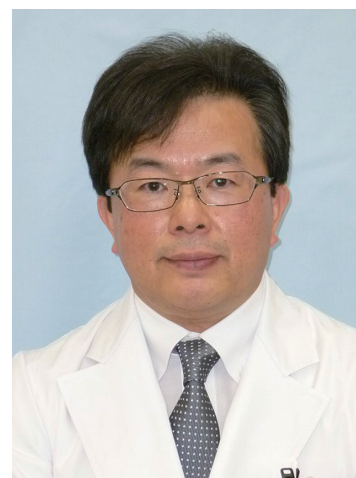
本年4月から医療局長を拝命し、早くも半年が過ぎてしまいました。私は、平成11年から麻酔科医としてがんセンターに勤務しております。平成19年5月に現在の新病院へ移り、設備も整えられ、手術件数は年々増加してまいりました。その中で、術前・術後に化学療法、放射線療法を組み合わせた手術や腹腔鏡手術が本当に多くなっているというのが実感です。

麻酔科医の仕事は、手術内容や体の状態に合わせ麻酔法を選択し、手術の痛みを取り除き、手術というストレスから患者さんを守るため周術期（術前・術中・術後）の全身管理を行うこと、そして手術業務全体の安全管理を行うことです。近年の麻酔技術、麻酔薬の進歩によって、麻酔はさらに安全になり、ただ高齢というだけで麻酔がかけられないということは無くなっています。重度の合併症や化学療法の副作用のある方でも、できる限り苦痛なく安心して手術が受けられるよう手術部（手術室・ICU）全体でチームとして対応しています。

手術業務の増加に伴って、麻酔科としてがんの痛み治療に関われる機会が減少してしまいましたが、平成26年6月に念願の緩和ケア病棟といたみ緩和センターが開設され、がんの痛み治療を専門的に行いながら、患者さんとご家族をサポートできるようになったことは心強い限りです。

がん対策推進基本計画（平成24～28年度）では、がんと診断された時からの緩和ケアの推進と並んで、がん治療の3つの大きな柱である「放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成とともに、チーム医療を推進し、放射線療法、化学療法、手術療法やこれらを組み合わせた集学的治療の質の向上を図ること」が重点的に取り組む課題となっています。

化学療法は抗がん剤、新たな分子標的薬などやその組み合わせによって日々進歩しています。放射線療法も新たな機器によって副作用の少ない照射が可能となり治療の適応が拡大されています。当センターはがん診療の専門家の集まりです。その専門性を発揮すると同時に、各専門家が知識、情報を共有してチームとして最良の治療を目指すことで、より良い治療の選択肢を提示できます。そして、患者さんとご家族が納得できるがん治療を受けるためには、十分に説明を受けた上で、それぞれの立場から治療法を積極的に選択されることが重要です。医療費削減、高齢化など医療を取り巻く状況は楽観的ではありませんが、意識の共有化、業務の効率化を通して、皆様が誇りを持ってがん診療に臨める環境作りの一助になりたいと考えています。



医療局長 高橋 利文

## 緩和ケア病棟開棟から1年が経ちました

平成26年6月に群馬県立がんセンター待望の緩和ケア病棟が開棟して1年以上経ちました。平成26年6月2日から平成27年5月29日までの入院数はのべ233回でした。軽快により入退院を繰り返す患者さんもいらっしゃるの、実患者数は若干少なくなります。

現在は、痛みの緩和や呼吸器症状を専門とする医師、がん看護や緩和ケアを中心とする看護師、心理ケアをおこなう臨床心理士、リハビリをおこなう理学療法士・作業療法士、薬剤師、入退院調整をおこなう外来専属看護師とMSW（医療ソーシャルワーカー）のチーム、栄養課チームなどの専門スタッフが力をあわせて病棟を運営しております。

どのような病状でも患者さんが自分らしく過ごせるようにサポートするための病棟ですので、本人が病状を理解して希望していることが前提となります。以下のような目的にそって入院を行っております。

- ① 苦痛症状緩和：鎮痛薬などの調整で、痛みをはじめとした苦痛を緩和していきます。
- ② 自宅療養への移行：自宅へ帰ることを目標に、症状緩和・リハビリや医療社会資源の活用・環境の調整を行います。また外来通院などで在宅療養をサポートします。
- ③ レスパイト・ケア：短期間の入院の受け入れを行います。
- ④ 終末期ケア：病状が進行していても、最後まで穏やかに過ごせるようにお手伝いします。

また、併設の緩和ケア外来では、緩和ケア希望患者さんの入院相談の診察・面談、症状が緩和され在宅療養可能となった患者さんの通院サポート、がん疼痛緩和のための専門外来などを行っております。意向に沿った療養場所と切れ目のない緩和ケアを提供するために、今後さらに地域連携を強化することが課題です。

疼痛治療部長 兼 緩和ケア部長  
兼 いたみ緩和センター長

肥塚 史郎



各分野の専門スタッフが支援いたします

### ～緩和ケア研修会を開催しました～

平成27年8月29日（土）、30日（日）の2日間、「平成27年度群馬県立がんセンター緩和ケア研修会」を開催しました。この研修会は、「がん診療に携わる医師が緩和ケアの基本的な知識、技能、態度を習得し、実践できること」を目的に開催するもので、当院はがん診療連携拠点病院として平成21年から毎年開催しています。内容は講義、グループ演習、ロールプレイと多岐にわたる密度の濃いものです。



また、医師向けの研修ではありますが、コメディカル（医師以外の医療従事者）にとっても参考になる内容となっており、今年も薬剤師やMSW、理学療法士など多職種の職員が参加しました。講義終了後は鹿沼院長から一人一人に修了証が手渡され、研修で得た学びを今後の臨床に活かすよう要望されました。

医事課長 久保田 幸雄

## がん治療に専念できる環境作り～感染対策チームの立場から～

がん治療に専念できる環境とは何でしょう。

感染対策チームでは、「感染症でがん治療が妨げられないこと」だと考えています。冬季にインフルエンザやノロウイルス感染症を病院内で流行させないためには、医療従事者・患者さん・面会者などがみんなで感染対策に取り組む必要があります。なぜなら、インフルエンザウイルスやノロウイルスを病院に持ち込むのは、医療従事者・患者さん・面会者であるからです。ここでは、がんセンターで行っている感染対策について、いくつかご紹介します。

一つ目は、医療従事者による病原体の持ち込みを防ぐ取り組みです。がんセンターでは、インフルエンザウイルスやノロウイルスに感染した職員は、他の人に感染させる可能性がなくなるまで休業しています。また、職員へのインフルエンザワクチン接種も積極的に行っています。

二つ目は、患者さんによる病原体の持ち込みを防ぐ取り組みです。がんセンターでは、地域でインフルエンザやノロウイルス感染症が流行してくると、入院する患者さんとご家族の感染症チェックを行い、患者さんが感染症を発症するリスクを評価しています。ここで、患者さんに感染リスクがあると判断された場合には、感染症状の観察の強化を行うと共に、患者さんに感染対策についてのアドバイスをしています。入院の際には患者さんご自身とご家族の健康状態についてぜひ教えてください。

三つ目は、面会者による病原体の持ち込みを防ぐ取り組みです。がんセンターでは、12月～3月の間、お急ぎでない面会は避けるようお願いしています。特に感染症にかかりやすい、12歳以下のお子さんや高齢者は「自身の健康を守る」という意味でも、感染症の流行時期に病院を訪問することは避けたほうがよいでしょう。また、実際に感染症状が出ている場合は、患者さんを感染から守るために面会をお断りすることがあります。

医療従事者・患者さん・面会者が協力すれば、感染症でがん治療が妨げられない環境を作ることができます。患者さんを感染症から守るため、またがん治療に専念していただくため、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。



感染対策チーム  
刑部 妙子

## 病院機能評価認定更新 3回目の認定！

平成 27 年 3 月 12 日、13 日に訪問審査を受審した病院機能評価は、平成 27 年 6 月 5 日付で認定され、認定証が交付されました。

今回で 3 回目の認定となり、認定証の星の数は認定回数を表しています。

認定後も地域医療に貢献する病院づくりのために、引き続き病院の質改善運動に取り組んでまいります。

\*審査結果は、日本医療機能評価機構のホームページで公開しています。



# 外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成27年10月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之		野川 秀之	山下 哲	保坂 尚志
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦 入沢 寛之	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 藤本 栄 (午後/禁煙外来)	藤本 栄		今井 久雄	
	外科	消化器	福田 敬宏	福田 敬宏	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 田部 雄一 小川 敦	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 田部 雄一 小川 敦	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 田部 雄一 小川 敦
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田 康弘 (遺伝)
		呼吸器			藤田 敦 小野里良一		藤田 敦
		形成	廣瀬 太郎				廣瀬 太郎
						(ストーマ外来)	
第二外来	婦人科	鹿沼 達哉 中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 西村 俊夫	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 西村 俊夫		中村 和人	鹿沼 達哉 中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 西村 俊夫	
		歯科口腔外科	新垣 理宣		新垣 理宣		新垣 理宣
	頭頸科	鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)		鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)		鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)	
				鈴木 政美 江口紘太郎 (午後新患)		鈴木 政美 井田 翔太 (午後新患)	
	麻酔科	高橋 利文			家島 仁史 内田 慎也		
	泌尿器科	清水 信明 蓮見 勝 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)	清水 信明 村松 和道 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)		清水 信明 蓮見 勝 村松 和道	清水 信明 蓮見 勝	
		(1日リンパ外来)					
放射線科	放射線	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	

※緩和ケア外来の受診を希望される方は「がん相談支援センター」へお問い合わせください。直通電話：0276-60-0679

## 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 ぐんま」のご案内

リレー・フォー・ライフ (命のリレー) は、がん患者やその家族、その支援者らが会場を交代で24時間にわたって歩き、がん制圧への願いを新たに絆を深め合う寄付イベントです。参加者は夜通し交代で歩きます。ぜひ会場にいらしてください。

- 日時：10月17日(土)12時~18日(日)12時
- 会場：群馬県総合スポーツセンター ふれあいグラウンド
- ウェブページ：<http://relayforlife.jp/gunma/>

つながろう  
がんに負けない  
いのちのリレー

### 診察予約 (初診、再診ともに予約制です。)

- 初診紹介予約制について  
当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状 (診療情報提供書) をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。
  - がん検診について  
当センターでは、がんの検診 (一次検診) は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってあります。
- 予約電話 0276-38-0762**
- 受付時間：午前9時から午後5時 (休診日を除く)
  - 電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時までをお願いします。
- ※休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

**入院者の面会時間 午後0時30分~午後7時30分**

### 群馬県立がんセンター

〒373-8550 太田市高林西町617-1  
TEL 0276-38-0771 (代)  
FAX 0276-38-0614  
URL <http://www.gunma-cc.jp>

